

地域と大学の連携

山形県すべてが学生の教材

司会 お二人は、首都圏ではなく山形に芸術大学がある、その意義をどう感じられていますか。

中山 27年前に芸術大学を山形に作ってくださった先見の明に感謝しますね。当時は芸術を学ぶ、デザインを学ぶというのは、ちょっと趣味の延長のようにも思われていました。それから二十数年経って、クリエイティブや芸術的発想が、さまざまな分野に活かされる時代になりました。それを読んでいたんじゃないかと。芸術大学で就職内定率95・9%（平成29年度）は、全国でもトップレベル。それが証です。芸術やデザインが地域課題と絡むことで、社会性が見られてきています。山形のフィールド全部が学生の教材であり、山形で学ぶ、芸工大で学ぶデザインや芸術を、どう地域に活かすかが考えられています。地方の面白いものをどう見せていくかという課題と、芸工

大のタイミングがちょうど合致したんじゃないかと思えます。

司会 芸術を活かして、都市づくりや山形県づくりに参加していくという、まさに中山学長がやってこられたことですよね。

中山 地域と一緒に、県全体が大学の教室のようになっていっているところがいいなと。その結果、芸工大と山形県の例を全国からたくさん視察にいらつしやる。気が付いたら理想モデルが山形にできていたわけです。
知事 嬉しい話ですね。本県には芸工大をはじめ山形大学や東北公益文科大学など各地に若者が集まる知の拠点がたくさんあります。それらは、積極的に活かしていくべき貴重な知の財産です。



卒業後も山形に残る学生が増えています

さらに本県には、誇れる地域資源がたくさんあります。こうした山形県全体をデザインしてもらおう

ことが、本県の付加価値向上につながると思えます。そういった意味で芸工大には大きく期待しております。

中山 在学時の地域との交流がきっかけで、卒業後も山形に残る学生がすごく増えていますね。先ほど知事が山形にはたくさんの方があっていいと思います。それが、他の大学を含めると、山形市だけで7000人も大学生がいます。彼らが互いに交流し、起業するような場所があったらいいと思います。そこにまた関係してくる人口も増えますね。例えば、「山形ビエンナーレ」には何万人ものお客さんが県外からいらつしやいます。あんな小さなお祭りでもそうですから、関わりたいと思っている人のきっかけを各大学が連携して、一緒にやっていければいいですね。

的に進めているところと、連携が鍵です。

さらに山形を豊かにいきいきと

知事 山形の活性化のためのもう一つの鍵は、インフラの整備です。交通インフラは、



芸工大がプラスの山形をつくり出す

交流人口の拡大や地域産業の発展をもたらす、山形はもちろん、東北、日本全体が活性化すると考えております。

中山 非常に大事ですね。今あるものに満足せず、より早く、より太くというのは、いつの時代も考えるべきことです。

芸工大は学生が集まれる場所づくりなど、小さなインフラ整備の旗振り役になればと思います。また、県内をつなぐのも大学生の役割かなと思っています。まさに今、月山を越えて庄内の大学や企業と

司会 山形の魅力はどこにあるとお感じになりますか。

中山 山形に魅力を感じる人は「何もないからいい」って言うんですね。「とんがりビル」では、本学が全国でも先駆けてリノベーションという考え方を打ち出していますが、イベントなどにしても、自分たちで楽しめる場所を作ろうという人たちにとっては、真つ白いキャンパスだと思いませんか、山形は。司会 県としても教育環境の整備に力を入れていますよね。

知事 さまざまな分野で若者に山形で学んでもらうことが重要だと考えています。県外に行かなくても学んでいたけるように、教育環境整備に力を入れてまいりました。また、大学卒業後に山形で頑張ることを支援する事業も実施しております。県がこうした取組みを進めている中、芸工大の学生さんの活躍は大変頼もしく映ります。司会 芸工大が手掛けたイベントやプロジェクトの成功の鍵は、どこにあると思いますか。中山 小さいことから少しずつ始

クリエイティブのやりとりを始めようとしているところと、知事 なんだかワクワクしてきますね。学生さんたちが山形県の血液のように、それぞれ地域を活性化してくれる。希望が膨らみます。司会 最後に二人から今年の抱負をお願いします。

中山 学生たちが楽しく学ぶだけではなく、山形を変える何かを残していきたいと思つています。山形を考える4年間は、外の地域で働く場合にも必ず役立ちますし、山形を好きになつて残ってくれる人もいます。大学は山形のためになります。地域の皆さんにご協力いただければと思います。知事 山形県の価値を高め続けなければならぬと思つています。そのためには、産業振興と若者の



この対談の様子は、1月6日(日)午後5時～5時30分山形放送(YBC)で放送予定です。